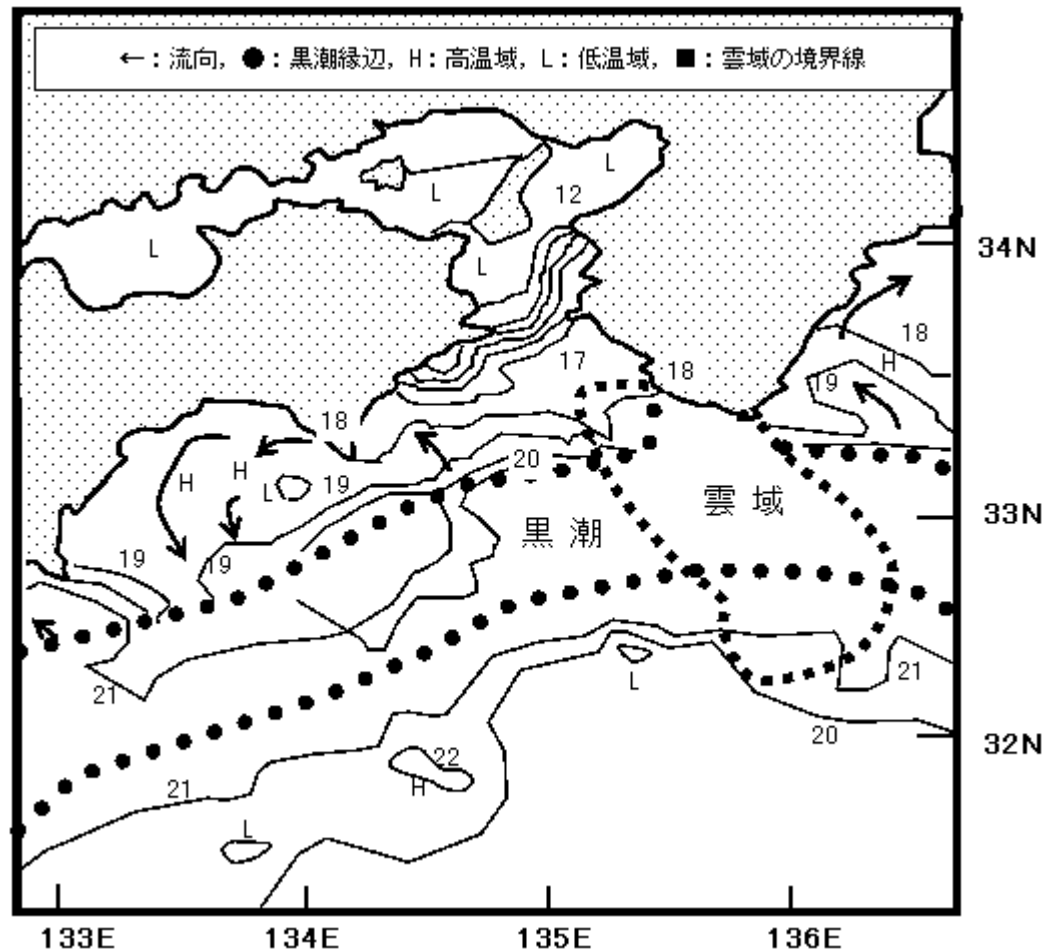


1. 海況の経過

1) 黒潮

九州東岸～足摺岬南～室戸岬～紀伊水道沖～潮岬で接岸して流れている。表面水温は21℃前後。潮岬沖の黒潮北縁は10マイル以内。



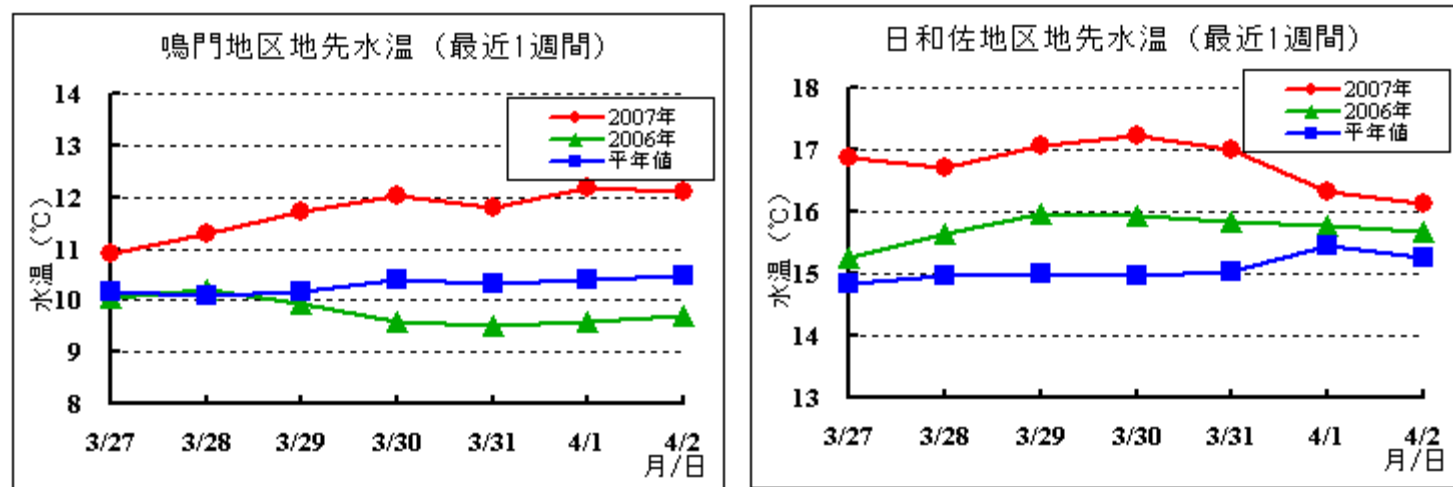
2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.3.31～4.1)を示した。

表面水温は播磨灘が11～12℃、紀伊水道内部が11～16℃、水道外域は14～18℃であるが徳島県沿岸部は14～17℃の内海系水に覆われている。

3) 地先水温

最最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の10.9～12.2℃で、日和佐地区が「やや高め」～「高め」の16.1～17.2℃で、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の14.8～17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.4トン(1日1隻あたり20kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にキビナゴが2.6トン(同107kg)、マイワシが1.8トン(同140kg)、カタクチイワシが0.9トン(同37kg)、小主体にマアジが0.6トン(同13kg)、アオリイカが0.5トン(同9kg)、小主体にマルアジが0.2トン(同13kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、メジロが0.2トン(同30kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にタチウオが0.5トン(同34kg)、特大、大主体にアオリイカが0.2トン(同7kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが2.6トン(同75kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが3.2トン(同91kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)3月22日～3月28日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	19	383	20	大主体
小型定置網		キビナゴ	24	2,574	107	大主体
		マイワシ	13	1,816	140	
		カタクチイワシ	25	929	37	
		マアジ	46	619	13	小主体
		アオリイカ	53	481	9	
		マルアジ	16	215	13	小主体
		大型定置網	メジロ	8	239	30
釣り		タチウオ	14	470	34	大主体
		アオリイカ	32	229	7	特大、大主体
	紀伊水道	タチウオ	35	2,639	75	特大主体
パッチ網		シラス	35	3,200	91	

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」で推移する見込み

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の12～13℃、日和佐地先で「やや高め」の16～17℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが8.9トン(1日1隻あたり114kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが15.0トン、さば類が3.5トン、スルメイカが1.3トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上